

令和6年度 森林環境譲与税活用事業実施状況

令和7年1月

1 森林環境譲与税導入の効果

- ・中学校の学習机の天板に使用し、地域材の活用につながった。
- ・地元製材所協力のもと取付作業を生徒自身で行い、森林環境教育の場を設けた。

2 森林環境譲与税を活用した事業一覧

(1) 森林経営管理制度関係事業

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税 (千円)	うち基金取崩額 (千円)	うち他の財源 (千円)			
小計		0	0	0			

(2) その他事業

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税 (千円)	うち基金取崩額 (千円)	うち他の財源 (千円)			
⑯ その他 (木材利用・普及啓発関係)	地域材利用促進事業	4,840	4,731	0	109	20m	中学校全校生徒分の学習机天板を作成し、地域材の活用・森林環境教育につながった。
小計		4,840	4,731	0	109		
合計		4,840	4,731	0	109		

事業区分表

① 森林所有者の意向調査の準備作業 (森林の現況把握・境界の確認・明確化等)	⑪ 新たな組織の設立
② 森林所有者の意向調査	⑫ その他 (人材育成・担い手の確保)
③ 私有林整備	⑬ 木造公共建築物等の整備・内装木質化
④ 公有林整備 (財産区有林含む)	⑭ 地域における木質バイオマス利用推進
⑤ 森林保護対策	⑮ 森林・林業の意義や木材利用促進に関する普及活動等
⑥ 林道・林業専用道の整備・維持修繕	⑯ その他 (木材利用・普及啓発関係)
⑦ その他 (間伐等の森林整備)	⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑧ 担い手の確保に向けた取り組み	⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑨ 林業就業者の育成 (労働安全対策や林業機械の導入含む)	⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑩ 専門員の雇用	⑳ 基金積立 (執行残額等)

- 南箕輪村では、村木であるアカマツの松枯れ被害が急速に進んでいる。特に被害の大きい大芝高原みんなの森では、樹種転換へ向けた取り組みとアカマツ材の有効活用を実施している。
- 伐採したアカマツ材の活用として、昨年に引き続き村内中学校の学習机の天板を制作した。

□ 事業内容

学習机天板制作

- ・ 材の地産地消を図るとともに、村の子どもたちに森への親しみをもってもらうため、アカマツ材を村内中学校の学習机の天板を作成した。

【事業費】 4,840千円（うち譲与税4,731千円）

【実績】 学習机天板 400台

□ 取組の背景

- ・ 「大芝高原みんなの森」では松枯れ被害のためアカマツの伐採を順次行っており、アカマツ材の活用が求められている。
- ・ みんなの森は約130年前に学校再建のために植栽が始まったことや中学校の学校林として指定されていることから学校内での活用を図った。



（天板の取付作業）



（完成した天板）



（大芝高原みんなの森）

□ 工夫・留意した点

- ・ 天板の反り防止と強度を保ちつつ、アカマツ材のぬくもりや色味を十分に感じられるウレタン塗装とした。
- ・ 愛着を持って使用してもらえるよう、天板の設置を生徒たちで行ってもらった。
- ・ 設置の際には天板を作製した地元の製材所の方に指導してもらい、地域交流の場となるようにした。

□ 取組の効果

- ・ 全校生徒分の天板を作成することができ、生徒が森林・林業に関心を持つきっかけとなった。
- ・ 村産のアカマツ材を約20㎡活用することができた。
- ・ 学校からは校内にいても森を感じられると好評である。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：4,731千円	②私有林人工林面積（※1）：500ha	
③林野率（※1）：56.7%	④人口（※2）：15,797人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より